

とうべつ

手にとって ^{ぐ〜っと}good 身近に



WEB版はこちら

議会だより



No. 211

令和4年12月1日発行

CONTENTS

8月臨時会・9月定例会

予算の使われ方を厳しくチェック・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2

- 特集1 介護サービス事業の経営
- 特集2 除排雪の課題解決へ「当別モデル」に多くの質問
- 特集3 当別町独自の学習支援 子育て世帯が住みよいまちへ

8人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・・・ p.12

- ・安心・安全の当別町に！
- ・子育てにやさしい町で移住促進を
- ・ここで子育てしたいと思える町へ
- ・子どもが群れて安全に遊べるまち
- ・庁舎建設と市街地活性化の取り組みは
- ・当事者に寄り添い早期検討を
- ・どうする？まち再生と公共施設
- ・子育て世代へのさらなる支援を

議案審議結果、議員定数と議員報酬・・・・・・・・ p.20

8月臨時会・9月定例会・各報告など



地元食材が使われた給食を食べる児童（とうべつ学園提供）

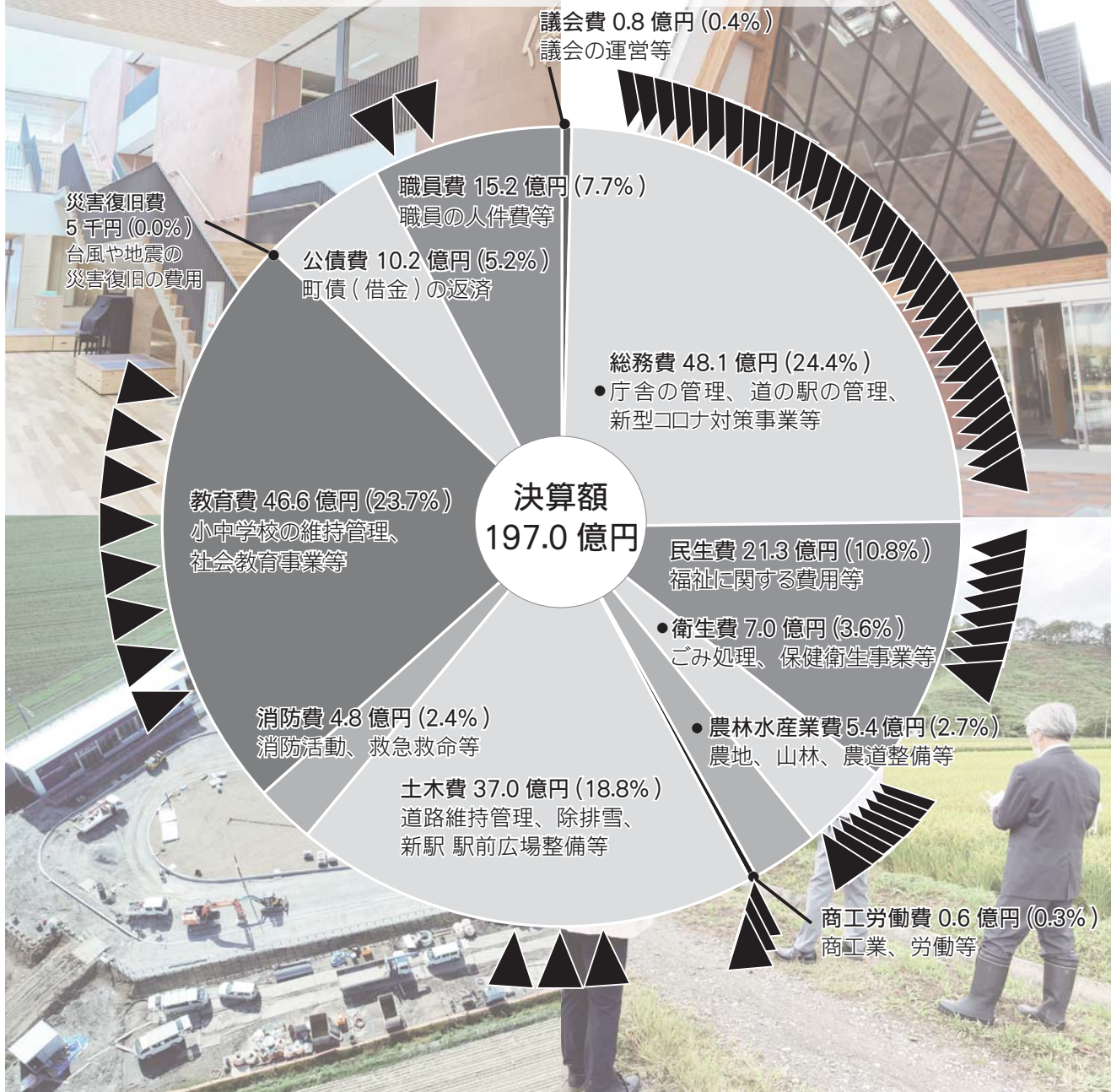
私達は、ここに注目しました！

令和3年度 各会計決算審査

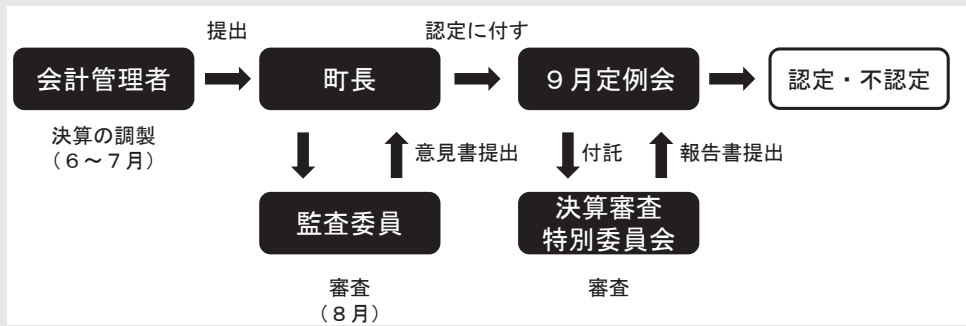
一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



決算の流れ



決算審査特別委員会
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない
質疑の様子が見られます。

9月20日・21日・27日
8月5日、9月14日
8月5日、9月15日

令和3年度各会計決算審査特別委員会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会

特集 1

介護サービス事業の経営

収支赤字が続く介護サービス事業運営へ一定の方向性

介護サービスとは、介護を必要とする人が受けられる介護保険に基づいたサービスの総称で、利用者の自宅での家事援助や、訪問・通い・宿泊を組み合わせたもの、介護保険施設に入所、福祉用具貸し出しなど多くの種類があります。

当別町では、デイサービス事業、ホームヘルプサービス事業を実施していますが、近年、利用者の減少などにより事業収支が赤字となっており、町直営の事業運営について、議会でも度々話題となっていました。

介護難民が出ないように



総合保健福祉センターゆとろ

介護サービス 介護サービス事業の赤字は

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

問 介護サービス事業特別会計について、実質収支が令和2年度1,283万円赤字となっているが主な要因は何か。

答 デイサービス、ホームヘルプサービスともに

介護サービス 介護サービスの将来は

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

問 町にはサービスを提供し続ける責務もあるが、赤字が続くようであれば、事業を継続して良いのかという問題も出てくる。介護サービス事業は今の体制で続けていく考えなのか。

答 町民が介護難民にならないことが大前提だが、赤字が続くのも当然良い状況ではない。2つのサービスは、令和5年度までの契約期間の中で、今後の方向性を定めていかなくてはならない。

『適正な決算と認定』
決算審査特別委員会報告



令和2年度各会計決算審査特別委員会
西村委員長(写真左)・鈴木副委員長(写真右)

介護サービス事業特別会計の赤字

令和3年度介護サービス事業における約2,544万円の収支不足について、令和4年度会計から繰り上げ補填すると説明がありました。

不足の要因は、訪問介護の利用回数大幅減、通所介護の1日平均利用者数の減、令和3年度はコロナ関係の交付金がなかったことなどです。ここ数年の収支悪化から、町直営の維持や事業縮小について検討を行い、その検討にあたっては利用者を第一に考え、町内事業者の負担が増えないように総合的に判断していくとのことでした。

過去の議論 (とうべつ議会だより第207号と第210号から一部抜粋)

過去の議論では「今後の方向性を定めていかななくてはならない」と答弁がされていましたが、令和3年度各会計決算審査特別委員会において、「事業規模縮小や町内事業者への委託など全ての選択肢について、現在、検討している」と一定の方向性を示す答弁がありました。

介サ
特会

介護サービスの方向性

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

問 デイサービス事業、ホームヘルプサービス事業について、今後の方向性をどのように検討しているか。

答 規模を縮小して継続、町内事業者へ委託などの

選択肢があり、現在、定員を縮小した場合の設置基準の人員など、全て含めて経費を算定している。また、デイサービスは開設してから20年以上が経過しているので、設備更新も含めて運営が可能か検討している。

介護サービス事業特別会計の状況

	歳入	歳出	収支
R2 決算	6,103万9,784円	7,387万680円	▲1,283万896円 (R3会計から補填)
R3 決算	5,189万3,812円	7,678万550円	▲2,488万6,738円 (R4会計から補填)
R4 予算	9,150万5,000円	9,150万5,000円	0円

※歳出には、それぞれ前年度の収支赤字補填額を含む

特集 2

除排雪の課題解決へ

除排雪の改善に向けて



昨シーズンの道路

土木費 除排雪まだまだ不十分では
町道除排雪事業 7億6,132万円

問 除排雪に関し、当初予算の目標は達成されていないと認識。堆積場不足、人手不足は承知しているが、除排雪連絡協議会や業者との連携、効果的な排雪の検討がまだまだ不十分だったのでは。

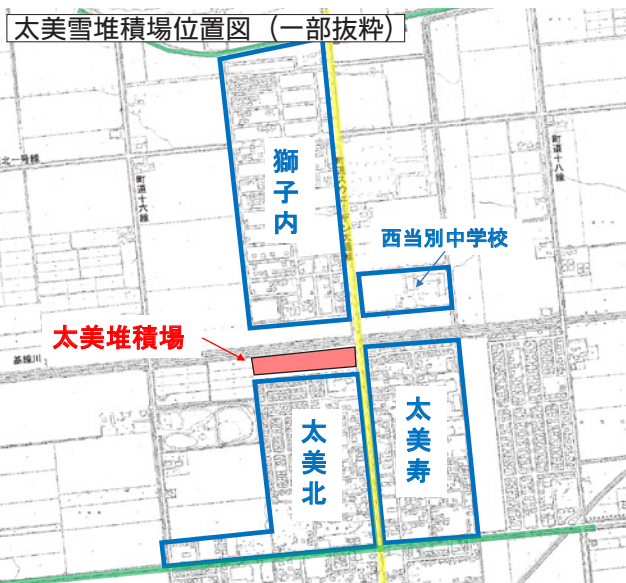
答 令和2年度の状況を踏まえ、臨機応変に対応してきたが、令和3年度は課題となってしまった。改善に向け、令和4年度以降さらに注意して取り組む。

太美に新しい雪堆積場

除排雪の課題解決へ向け、太美市街地に雪堆積場が新設されます。太美全体の排雪時間縮減が期待されています。また、夏場は住民の「憩いの場」として活用できるように整備が進められます。



新しい雪堆積場の写真（太美町）



土木費 新雪堆積場の容量は

令和4年度補正予算審議

問 新雪堆積場は2.5mの高さまで雪を入れると2万3,000立方メートルが入るとのことだが、太美北、獅子内、太美寿の3町内会の生活道路や公共施設の排雪量を見通したもののなのか。

答 3町内会と公共施設の排雪実績は、5か年平均で2万2,900立方メートルであり、現在計画している2万3,000立方メートルで賄える試算をしている。

土木費 太美の排雪時間短縮へ

令和4年度補正予算審議

問 3町内会以外にも、ダンプ路線となるスウェーデン大通を優先して排雪しなければならない。一部だけ遠くへ排雪となるのは効率が悪いため、効率の良い排雪をしてもらうよう期待する。

答 この堆積場は、3町内会と公共施設分だけだが、堆積場が近くなれば短時間で排雪が済み、次に早く入れる。結果、太美全体の排雪時間縮減にもなるので、今シーズン大きな成果を上げたい。

「当別モデル」に多くの質問

新雪堆積場 騒音や安全性は



新しい雪堆積場は住宅地に隣接

土木費

新雪堆積場の安全性は

令和4年度補正予算審議

問

新しい雪堆積場が住宅地に隣接していることから、騒音や安全性などの懸念があると、住民から町へ要望書が提出されたと聞いた。その要望に対して、どのように対応していくのか。

答

振動・騒音、通学路安全対策など、6点の要望をいただいた。地域との協議、誘導員配置、注意看板や柵設置等、万全を期して対応する。初めての試みのため、地域の意見を聞きながら進める。

夏は「憩いの場」に

土木費

新雪堆積場の夏季利用

令和4年度補正予算審議

問

夏は憩いの広場として町民に開放するとのことだが、どのようなイメージの憩いの広場なのか。対象者は誰で、どのような形態で開放するかなど、詳細は。

答

多目的広場、憩いの広場を想定。対象は町内全域の方と考え、遊歩道やベンチを設置する。具体的な整備内容はこれから詰め、来年度予算で、必要な経費を計上したい。



夏は憩いの場に（写真はイメージ）

除排雪「当別モデル」へ第一歩



新雪堆積場前のスウェーデン大通

土木費

3町内会にこだわらずに

令和4年度補正予算審議

問

新雪堆積場は新しいスタイルであり、街中に作る発想は今までなかった。初年度のため問題は出てくると思うが、3町内会に限らず、状況を見て近隣住民の雪捨て場とするなどの対応は。

答

3町内会以外の部分も考えているが、まずはこの形で、地域住民の理解や評価も押さえながら進めたい。除排雪の「当別モデル」の第一歩として是非成功させたいと考えている。

特集 3

当別町独自の学習支援

学力向上へ「学びのハンドブック」配布

当別町教育委員会では、学校と家庭がより連携し、児童生徒へしっかりとした学力を身につけさせるため、「学びのハンドブック」を配布しています。

教育費

学びのハンドブック活用

小中一貫教育推進事業 1,133 万円

問

学びのハンドブックを作成し、小中学校の全家庭に配布したとのことだが、成果はあったのか。

年間の学習領域等を掲載しており、保護者からは、今どのような学習をしているか分かりやすいなどの声をいただいている。今後、各家庭にアンケートを実施し、より有効活用されるように検討していきたい。

答

町独自施策として小中学校の全家庭に配布。9

当別町立学校シラバス

学びのハンドブック



学びのハンドブック

教育費

不登校の家庭にも配布

小中一貫教育推進事業 1,133 万円

問

現在、学校に行けていない子どもに関しても、その家庭へ学びのハンドブックを配布しているのか。学校に行けていない児童生徒との関わりなどは、どのように対応されているのか。

答

学校に行けていない子の家庭にも配布。適応指導教室でも活用しているので、今何年生で何を学習するか目安としてもらいながら、学校では保護者と連携を図って対応を進めている。

教育費

適応指導教室の通信環境

教育情報システム運用事業 2,343 万円

問

適応指導教室には Wi-Fi 環境がなく、タブレットを活用できないとの答弁が以前あったが、現在は改善されているのか。

答

学校と同じシステムにはなっていないが、公共の Wi-Fi スポットを活用して対応している。

通学時の安全確保



児童の登下校の様子 (とうべつ学園提供)

教育費

通学かばんの重さ対策は

小中一貫教育推進事業 1,133 万円

問

以前、通学かばんの重さについて、実態を捉えて対策すると答弁されたが、この1年間で実態をどのように捉えたのか。

持参していること、同学年でも体格が異なることなど複合的に考える必要がある。学校は置き勉を行いかばんの重さについて配慮を進めている。通学時の児童生徒の安全確保が重要なため、引き続き学校と協議していく。

答

教材自体が重くなったり、コロナ対策に水筒を

子育て世帯が住みよいまちへ

教育・子育て環境の充実

教育費

地域で部活動を支える

地域運動部活動推進事業業務委託 61 万円

問

休日部活動を地域委託とする事業が、令和3年度から始まったが、子どもや保護者の声はどうだったのか。教育委員会として、成果をどのように見ているのか。

答

生徒の67%、保護者の約半数が続けてほしいと回答。国が示すとおり受益者負担を求めることが課題。支援することも示されているが、具体的な内容がまだ見えないため、今後も検証を進める。

民生費

あそびのひろば予約方法

子育て支援センター費 319 万円

問

あそびのひろばは、現在、新型コロナ対応のため、前日までの予約が必要だが、当日予約も可能となれば、より利用者も増えるのではないか。その検討はしているか。

答

現在、新型コロナ対応のため、予約制にして利用制限を行っているが、当日の問い合わせでも、定員がいっぱいでない限り受け付けている。昨年も7組14名が当日申込みで利用している。

学校給食も地産地消

教育費

給食への地元食材活用

給食収入 4,757 万円

問

学校給食には、どのような当別町産の食材が使われているのか。また、どれぐらいの割合で使われているのか。

答

当別町産の人参、トウモロコシ、ジャガイモ、大豆、キャベツ、カボチャなどの野菜、豚肉や鹿肉、お米、いもだんごを使っている。金額は約948万円で、賄材料費全体の約2割となっている。



当別町産の食材が使われた給食

子育て世帯の転入へ向けて



※家具は付属しません

COCOTTO の内装

土木費

公共賃貸住宅 ^{ココット}COCOTTO

公共賃貸住宅整備事業 3,720 万円

問

令和2年度に改修した子育て世帯向け公共賃貸住宅の入居状況や賃貸収入率など、現在の状況は。また、入居率を上げるためにどのような努力をしているか。

答

現在8戸中6戸、75%の入居率となっている。入居率を上げるため、町の広報・HPや新聞広告への掲載、パンフレット配置、ルームツアー動画のSNS掲載など、PR活動を行っている。

医療大学連携推進プロジェクト

町と北海道医療大学は、医療、福祉、介護、教育など多方面で連携しています。

学生はまちづくりにおいて、世代間交流、将来の町への移住・定住や関係人口の増加という観点から重要な存在です。

医療大学には3,000名超の学生が在籍していることから、町は「北海道医療大学連携推進プロジェクト」の1つとして、学生に町内に住んでもらえるように、新生活応援事業、アルバイト先の確保、居住・学習環境の整備などを進めています。

総務費

医療大生の新生活応援

北海道医療大学連携推進プロジェクト負担金 260万円

問

予算審査で負担金の有効活用について指摘があったが、令和3年度の事業実施ではどのような工夫をしたか。

に町内商品券を渡していたが、令和3年度からは対象を全学年とし、商品券も増額するなど拡充を図った。また、この負担金外ではあるが、コロナワクチン接種への医師・看護師の派遣等の支援もいただいている。

答

新生活の応援として、町内に新たに住む新入生

新しいまちの顔づくりに向けて

歳出全体

予算執行率 92.8%

歳出決算額全体

問

令和3年度は、令和2年度より約40億円歳出が増えたが、執行率は例年97%程度であるのに対し、92.8%となった。100%使えば良いというわけではないが、92.8%となった原因は何か。

答

光回線整備や新駅関係の工事などで、実際の工事で金額が落ち、不用額が生じたのが原因。光回線含む総務費で約2億5,700万円、新駅関係含む土木費で約1億3,700万円の不用額が生じた。

総務費

企業立地促進事業の実績

企業立地促進事業補助金 1,747万円

問

令和3年度の企業立地優遇制度の成果と制度への問い合わせ件数は。問い合わせには、どのような対応をしてきたのか。

た。相談は4、5件電話が来ている状況。対応としては、どのような制度があるか、どのような土地があるかなどの質問に対して、町が把握している情報は可能な限り提供している。

答

令和3年度は、3事業者に対し補助金を交付し

総務費

新駅のロードヒーティング

令和4年度補正予算審議

問

新駅駅前広場のロードヒーティング工事は年内に終わるのか。また、予算を減額して保護コンクリートとしているが、地盤の悪い当別において、強度などに影響はないのか。

答

駅前広場の工事と同時で、年内に終わるよう進めている。また、通常、歩道は碎石を入れ、その上を舗装するが、そこを今回コンクリートに変えるため、通常より強度は高まる。



駅前整備が進むロイズタウン駅(当別太)

好調 ふるさと納税 27 億円

総務費

楽天と ANA の導入効果

ふるさと納税推進事業 16 億 3,786 万円

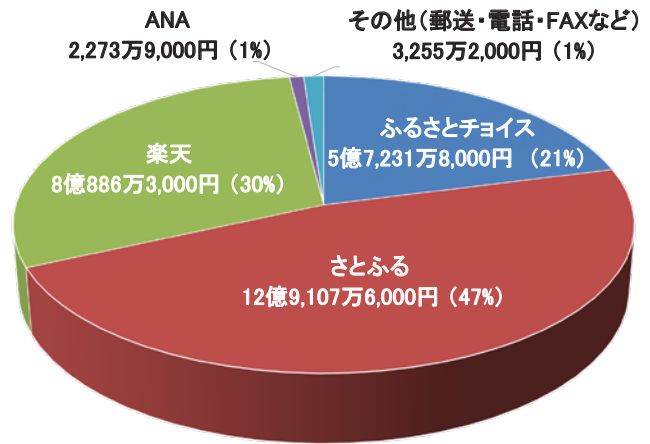
問

令和3年度、ふるさと納税ポータルサイトに楽天とANAを加え、予算も約7,000万円増やしたが、どのような効果があったか。

答

楽天からの申し込みは全体の29.6%、寄附額は約8億円で、非常に効果があった。ANAは0.8%、寄附額は約2,200万円。今後はANAからの金額を増やす取り組みを進めていきたい。

令和3年度 ふるさと納税寄附金額と申し込み方法の割合



寄附金額: 27億2,754万8,000円

令和3年度 ポータルサイト利用手数料

ふるさとチョイス	3,147万8,040円
さとふる	1億7,042万2,032円
楽天	4,820万9,585円
ANA	200万1,032円
合計	2億5,211万689円

令和3年度 クレジットカード決済に係る手数料

加盟店手数料	3,299万5,787円
--------	--------------

総務費

ポータルサイト利用料

ふるさと納税推進事業 16 億 3,786 万円

問

ふるさと納税は6割が経費で、町が利用できるのは4割。経費のうちクレジットカード決済手数料を含むポータルサイト利用料が2割に上る計算だが、経費の割合はどのようになっているか。

答

約27億円のうち、約16億円が経費。うちポータルサイト利用料は約2.8億円で、大きな負担であるため、各ポータルサイト運営会社に利用料の見直しについて働きかけを行っている。

プレミアム付き商品券の成果

総務費

商品券の経済効果は

プレミアム付商品券事業 8,423 万円

問

プレミアム付き商品券を購入した人の年代は。また、協力店の売り上げが上がったなど成果は出ているのか。

答

購入者は60代以上が30%を占め、20歳未

満が5%と少なかった。20～30代、40代もそれぞれ20%という状況。成果としては、町費で約8,400万円を支出したが、約2億3,000万円分の商品券が町内に回っており、効果が出ている。

総務費

ジャンル別の成果は

プレミアム付商品券事業 8,423 万円

問

プレミアム付き商品券の成果について、どのお店でよく使われたかなど、協力店別に押さえているか。

答

一番大きいのはスーパーマーケットで約40%、次が飲食・観光業で約22%、ドラッグストアが約18%、コンビニが約3%という結果となっている。

道の駅の6次産業化



道の駅とうべつ コンビニ出店予定箇所

総務費

道の駅の6次産業化

令和4年度補正予算審議

問

道の駅への大手コンビニ出店には期待しているが、道の駅の6次産業化※¹へ向けて、地元商品の販路拡大や地域特産品の開発・改良など、大手コンビニとの打ち合わせは進んでいるか。

答

当別町産の黒豆や米粉を活用した商品開発について、それらの販売を町内の店舗に限るか、近隣の店舗まで広げるかなど、その辺りまで踏み込んだ協議をしていると(tobeからは聞いている。

JR 廃線に伴う影響

総務費

札沼線代替バスの利用者減

JR 札沼線代替バス運行事業 1,110 万円

問

予算が約 2,000 万円計上されていたが、決算は約 1,000 万円となっている。また、利用人数も令和2年度より約 1,000 人減っているが、それらの原因は何か。

答

国からの補助金が増えたことと、2往復少ない土日祝日便の運行開始による人件費や燃料費の削減が主な原因。利用人数は、JR 廃線に伴い月形高校生の利用がなくなったことによるもの。



札沼線代替バス（とべ～る号）

コロナによる接種控え・受診控え

民生費

予防接種数の減少

各種予防接種事業 1,501 万円

問

令和3年度、インフルエンザ予防接種率向上に向けて 300 万円を増額したが、接種数が前年度比で約 600 人減っている。ワクチンが不足したのか、コロナによる接種控えなのか、原因は。

答

ワクチンの供給量が少なかったことや、新型コロナウイルスでインフルエンザが流行していない現状から、予防接種が控えられたことなどが原因であると分析している。

国保特会

国保特会の不用額

保険給付費不用額 1 億 1,426 万円

問

保険給付費で約 1 億 1,000 万円の不用額が出ている。特に療養諸費と高額療養費が大きいのが、原因は何か。

度と続けてコロナ禍前の年までの給付額を下回っていることや、月別で見ると、新型コロナウイルス流行期に請求額が低い状況がうかがえるため、新型コロナウイルス流行による受診控えが原因ではないかと予測している。

答

保険給付費については、令和2年度、令和3年

※1 6次産業化… 農業者が農畜産物生産（1次産業）だけでなく、製造・加工（2次産業）や販売（3次産業）にも取り組むこと。

高齢者の安心な暮らしのため

次のページは

一般質問

8人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

民生費

独居老人緊急通報サービス

独居老人等緊急通報サービス事業 147万円

問

独居老人等緊急通報サービスについて、例年、新規が5、6件、利用世帯も30後半から40世帯で推移しているが、年間どれぐらいの通報があり、どのような処理がされているのか。

答

健康づくり財団に通報・相談できる装置を置くもので、令和3年度は、緊急が7件で全員搬送となった。相談等は313件で、緊急と思しきものが44件、うち1件が搬送となった。

民生費

装置の台数は足りるのか

独居老人等緊急通報サービス事業 147万円

問

例年、新規の装置設置が5、6台で予算も同様に推移。高齢化が進む中、ニーズに対し、台数は間に合っているのか。

答

装置は住民税非課税世帯に設置。設置にあ

たっては町内の福祉関係機関にも周知しており、その紹介での設置もある。課税世帯は、有償になるが、同様の事業者を紹介するなど、漏れのないように周知している。今後、必要性は増していくものと考えている。



緊急通報端末

総務
文教

職員1人で抱えてないか

農業委員会事務局の事務未処理について

問

納税猶予事務の未処理により農業者が課税された件で、以前の不祥事のように職員が業務を1人で抱えてしまう背景があったのでは。反省を生かし、町全体で今後どのように取り組むのか。

答

複数人や複数方法での確認を行うなど、改めて綱紀粛正に努め、間違いない事務をするという原点に立ち返るべく、組織としてさらなる引き締めを図っていく。

【その他の主な質問項目】

ロイズタウン駅周辺の町道の愛称募集方法（総務）、ICT推進事業における講演会講師（総務）、当別スウェーデンマラソン参加人数（総務）、マイナンバーカード普及率（産業）、新型コロナウイルスワクチン接種業務の委託先（産業）、高濃度PCB廃棄物処理業務（決特）、空き家対策検討状況（決特）、ホームページリニューアル（決特）、高度無線環境整備事業（決特）、当別町史編さん事業（決特）、いじめ問題調査（決特）など

『適正な決算と認定』

～決算審査特別委員会報告～



令和3年度各会計決算審査特別委員会
佐藤委員長（左）・佐々木副委員長（右）

起草委員会

委員長 櫻井紀栄
委員 岡野喜代治
委員 秋場信一
委員 五十嵐信子

※起草委員会とは

決算審査特別委員会の審査結果報告文書を作成する委員会



一般質問

佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に！

移手段がなく通院等に困っている高齢者がいる。デマンドバスでカバーできない高齢者へ支援が必要である。広い当別町に住むには、運転免許はなかなか手放せない。運転寿命が伸びるよう高齢者に寄り添った

政策も必要ではないか。また、昨今は大雨による被害が多発している。当別町でもいつ起こるか分からない。コロナ禍で避難訓練ができない状況が続いているが、啓発活動など今できることをすべきでは。

ここが
聞きたい

高齢者の移動支援

問 移手段がなく通院等に困っている高齢者がいる。デマンドバスでカバーできない地域の高齢者にも支援が必要では。

答 デマンドバスの運行エリア拡大、訪問診療や往診の充実、買い物サポートの充実など、移動支援は高齢者支援全般に関わる課題であるため、今後、総合的に調査研究を進めていく。



ふれあいバス

ここが
聞きたい

運転技能や認知力の向上

問 運転寿命を延ばすため、脳のトレーニングにより運転技能、認知力、活力を向上させる「運転技能向上トレーニングアプリ」を町として導入しては。

答 すでに複数の類似アプリが無料で利用できるため、町で導入や活用をする予定はない。運転寿命を延ばすことよりも、車の運転ができなくても、快適に暮らせるまちづくりを目指していく考え。

ここが
聞きたい

町独自のサポカー補助金

問 運転に不安を感じる高齢者への支援として、後付けできる「ペダル踏み間違え急発進等抑制装置」を町で補助しては。

に開設している、認知機能、記憶力、危険察知などのトレーニングができる無料ウェブサイトについて周知するとともに、国にサポカー補助制度の継続や充実について要請していく。

答 町としては、日本自動車連盟が高齢運転者向け

ここが
聞きたい

自助・共助・公助の備えを

問 コロナ禍で避難訓練もできない状況が続くが、災害はいつ起こるか分からない。町としては態勢の確認やシミュレーション、町民に対する啓発などが必要ではないか。

答 感染状況を見極めながらにはなるが、避難経路などを確認する図上訓練、防災マップを教材とした講習会、災害対策本部運営訓練など、各種防災事業が実施できるよう準備を進めている。

ここが
聞きたい

支援を実効性のあるものに

問 災害時の避難支援を実効性のあるものとするために、個別避難計画の作成が有効とされている。行政が中心となって、要支援者の個別避難計画作成を進めるべきでは。

答 作成手順等に苦慮する自治体が多く、全国的に進んでいないと聞く。町も同様に、コロナ禍で進める上で、いくつかの課題整理が必要。今後、国の説明会などを参考に、早期作成に取り組む。

一般質問

山田 明 議員



質問の
ねらい

庁舎建設と市街地活性化の取り組みは

多くの町民が関心を寄せる役場新庁舎建設に関連し、検討委員会の検討状況、民間施設活用など、その後の進捗はどうなっているか。また、第8期高齢者保健福祉計画で課題となっている在宅医療の拠点となる高

齢者専門医療機関の誘致の可能性や、除排雪体制の見直しと強化に向けて町はどのように取り組むのか、町内会や環境整備組合との連携をどのように図るのか伺う。

ここが
聞きたい

検討委員会の進捗状況は

問

新庁舎建設検討委員会では、建設コスト圧縮の議論もされているが、事業推進にはさらなる工夫や今までとは異なる発想も必要と考える。6月定例会以降の検討委員会の進捗状況は。

答

8月に第2回委員会が行われ、昨今の経済状況を鑑み、庁舎規模縮小についても議論された。駅前の人の流れや賑わいのため、規模の適正化を図り、適切な場所への建設が必要と考えている。



当別駅前大通

ここが
聞きたい

駅前の民間ビルの活用は

問

当別駅前に建設予定の民間ビルの活用について、具体的に検討したいと以前答弁があったが、その後の進捗は。町としては今後どのように進めていく考えか。

答

以前、中心市街地活性化の一貫として、民間ビルへの図書館機能導入も良策ではと答弁したが、賛同いただけるプランだろうと考えている。ビルのスケジュールもあり、早急に結論を出したい。

ここが
聞きたい

駅前中心市街地の活性化は

問

新庁舎建設は、現在の社会情勢や限りある財源の中でも、公民連携や新たな発想の下で、中心市街地の活性化につなげる施策として進めるべきと考えるが、町長の見解は。

答

民間施設との連携を含めて都市機能を適切に配置し、エリアの機能を高めることが活性化につながると考えているので、町のランドデザインを俯瞰したトータルの施策となるよう努める。

ここが
聞きたい

第8期高齢者保健福祉計画

問

第8期計画の中に、訪問診療や往診の実施に向け、在宅医療の拠点となる医療機関の誘致を進めるとあるが、現時点で計画期間の令和5年度までに誘致できる可能性はあるのか。

答

現在、訪問診療ができる医療法人の開業準備が進んでおり、順調にいけば令和5年度の開業となる。在宅医療に強みを持つ法人なので、町内介護事業所との連携強化も期待している。

ここが
聞きたい

除排雪体制の見直しと強化

問

以前、除排雪について、人員不足解消、効率良い作業のための発注方法を検討すると答弁があったが、現在の進捗は。

答

人員増については、除雪業者が排雪も協力する

等の対応を協議して決めた。発注方法については、除雪と排雪を分けると、人員や設備の面で作業遂行が難しくなり、コストも大幅増となるなどの課題から、継続して研究することとした。



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

子育てにやさしい町で移住促進を

札幌市や江別市に先んじて、入院は平成28年8月より18歳年度末まで無料、通院は令和2年8月より小学校卒業まで初診時一部負担のみで受診可能とした。現在、子育て世帯の移住が進んでいる。「子育て

にやさしいまち」という住民の実感
は移住者にも伝わり、いずれ住みたいまちへと広がる。今こそ「子育てにやさしいまち」という住民の実感を高めるため、子ども医療費助成拡大に踏み切る時ではないか質した。

ここが
聞きたい

子ども医療費助成の拡大を

問 以前、子どもの医療費助成が移住促進の誘因となるようにしなくてはいけないとの答弁があった。今まさに子育て世帯の移住が進んでいるので、通院費も高校卒業まで拡大すべきでは。

答 子育て世帯が住み続けたいと思うポイントとして、育児負担軽減は重要な施策。この助成はその一つ。現在、人口増に向けて検討しているが、より効果的な施策を見極めて総合的に判断したい。

ここが
聞きたい

改良型ワクチンの接種は

問 第6波、第7波の反省を踏まえ、新型コロナウイルス対策の強化が求められている。町では、オミクロン株に対応した改良型のワクチン接種は、いつから、どのような内容で始められるのか。

答 ファイザー社のオミクロン株B.A.1型対応ワクチンを10月1日から使用する。対象者は2回接種済みの12歳以上である。町の広報やHP、公式LINE等のSNSで周知している。

ここが
聞きたい

町としての取り組みは

問 8月、国から肥料価格高騰対策事業の案内が出された。実情に即した制度運用や必要な予算の確保が求められる。国や道の肥料価格高騰対策の着実な実施のため、町はどのように取り組むか。

答 7月から町独自の対策事業を実施。農業者からもありがたいとの声をいただいている。今後の国や道の事業は、町ではなく農協経由や個人申請となるため、申請忘れがないよう周知に努める。



当別町の水田

ここが
聞きたい

弔意を求めるべきでない

問 旧統一教会との癒着が明らかとなった安倍晋三氏への国を挙げての賛美に反対の声が上がっている。国から要請されても、弔意を求める通知はすべきでない考えだが、町長、教育長の考えは。

答 町に国から指示などはないが、弔意を示すのは自然なこと。国葬に合わせ、役場庁舎のみで半旗を掲げ弔意を示す。町教委も、国の決定に沿って地方自治体に対応するのは自然と考えている。

ここが
聞きたい

調査する考えはあるか

問 旧統一教会と政治の癒着問題が、国だけでなく地方まで波及していることに国民の怒りが広がっている。町長及び町、町関連団体について、旧統一教会との関係を調査する考えは。

答 町長も町も当該団体とは一切関わりがないと認識している。私を町長として応援くださる方の個別情報は持ち合わせていない。現段階では、調査が必要とは考えていない。

一般質問

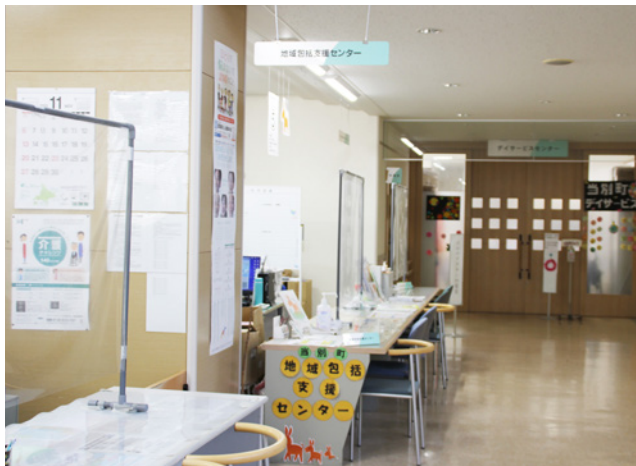
五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

当事者に寄り添い早期検討を

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口として設置しているが、どこに相談すれば良いか迷う人も少なくない。高齢者目線に立って、地域包括支援センターに愛称を設定すべきと質した。また、近年、前立

腺がん・膀胱がん・前立腺肥大などの病気でおむつや尿漏れパッドを使う人が増えているため、その方々への配慮について質した。さらに、障がい児送迎について、せめて冬場だけでも負担を軽減すべきと質した。



地域包括支援センター窓口（ゆとろ）

ここが
聞きたい

覚えやすい愛称と工夫を

問

地域包括支援センターは、保健師や福祉専門職が配置され、高齢者の総合相談窓口として設置されている。相談窓口として覚えやすい愛称や窓口がどこにあるか分かりやすく工夫すべきでは。

答

地域包括支援センターが全国的に浸透していると考えているので、現時点で愛称設定の予定はない。窓口の見た目については、引き続き工夫し、分かりやすい表示や周知に努めていく。

ここが
聞きたい

男性用トイレに配慮を

問

膀胱がん等患者には尿漏れパッド着用者が多いが、男子トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）がなく、持ち帰らなければならない人が多くいる。公共施設の男子トイレにも設置すべきでは。

答

ゆとろの男性用個室に一部設置済みである。他の公共施設についても、施設の実情に応じて、サニタリーボックスの設置を検討していく。



サニタリーボックス（ゆとろ）

ここが
聞きたい

障がい児送迎支援の充実を

問

保護者は、特に冬の送迎に神経を使い、緊張の毎日を送っている。以前、支援について具体的に検討し始めているとの答弁があったが、現在の進捗状況は。

答

養護学校のバスや町独自の送迎バスは活用が困難。現状、町ができるのは移動支援拡充となるが、町外通学者に限定や一部自己負担設定など、費用や支援条件について引き続き検討していく。



福祉車両（本人提供）



一般質問

櫻井 紀栄 議員

質問の
ねらい

ここで子育てをしたいと思える町へ

商業地域にある未使用の土地の適切な開放が経済活動につながる。都市機能をしっかりと集約し、土地や施設を利活用すべきと考え、使われていない旧公民館や利用がない公園の今後の取り扱いについて伺った。

さらに、子育てが楽しいと思える育児環境になるように、産後ケア事業のガイドラインを超えて、すべての妊産婦が助産師によるケアを選択すべきと考え、今年度から始まった産後ケア事業について伺う。

ここが
聞きたい

空き店舗の現状把握は

問

商店街はシャッターが閉まったままのお店も多い。活性化に向けて、空き店舗の状況把握が必要。店舗を手放したいのか、持っておきたいのかなど、事業者にはアヒリングは実施しているか。

答

持ち主、商工会、不動産業者と情報交換し現状把握に努めている。店舗併設の住宅であり貸せない人が多いが、貸す、売る意思を持つ人もいる。個々の事情を聞き、どう活用するか検討が重要。

ここが
聞きたい

公園整備で遊具の配置を

問

小規模公園が多い分、設置遊具はとても古く、なかなか更新されない。安全面でも不安を多く感じる。阿蘇公園やライラック公園よりも小さい公園の遊具整備の予定はあるのか。

答

遊具はどのような整備が良いかなどを含めて、公園の在り方については、幅広く地域と協議して今までやってきた事実があるので、その方針に沿って今後も続けていく。

ここが
聞きたい

産後ケアの対象月齢拡大へ

問

出産後1年を通じてメンタルヘルスケアの重要性が高いとされており、近隣市町村においても、対象月齢が生後4か月から1歳まで拡大されてきている。町も対象月齢を拡大しては。

答

他市町村の状況や委託先の助産師との情報交換により、4か月経過後もさまざまな要因で支援が必要な人がいると聞いているので、今後、対象期間の延長について検討していきたい。



産後ケア対象拡大へ検討を

ここが
聞きたい

助産師派遣で行政と連携を

問

産後ケアに関わる相談は、半ば義務である健診時が最適で、新生児訪問や乳幼児健診へ助産師を派遣できれば、必要なタイミングで対象者をつなげられる。健診等への助産師派遣を検討しては。

答

新生児訪問や乳幼児健診等への助産師派遣は、これまでアンケート等でも要望がなく、町としては現段階で必要性があると認識していないため、派遣は考えていない。

ここが
聞きたい

今後の旧公民館の使い方

問

旧公民館は、毎年、除排雪費を含めた維持管理費が発生。他の施設に備品を移動して、解体する検討はしているか。

答

解体を前提としつつも使っている状況。効果的な解体費用の捻出を含め検討中。使用に必要な費用はかけていく考え。

【その他の主な質問項目】

妊産婦へのアンケート実施状況、産後ケア事業の利用状況と周知方法 など

一般質問

秋場 信一 議員



質問の
ねらい

どうする？まち再生と公共施設

太美地区が新駅開業に伴い活性化されていく一方、本町地区は駅南側の商業地域で、廃業による空き家や廃止した公共施設が増え空洞化が進んでおり、まちなか再生の課題となっている。現在、新庁舎建設の議

論が進んでいるが、今後の公共施設は「にぎわいある街づくり」に積極的に関わっていくべきと考え、それらの課題解決についてや、持続可能なまちづくりについて、除排雪問題も含めて質した。



現在の役場庁舎

ここが
聞きたい

商業地空洞化と新庁舎

問

公共施設は、当別駅北側にまとめて建てられた時代と異なり、空洞化が進む南側や中心地の再生を考え立地すべき。役場新庁舎との複合化を含めて、まちづくりにどのように関わっていくか。

答

新庁舎建設検討委員会では新庁舎への複合化にこだわらず、分散配置の考えも議論されている。今後のまちづくりを見据え、公民連携を意識しつつ、新庁舎の機能と配置について検討していく。

ここが
聞きたい

利用広がる除雪機貸与

問

町内会への除雪機貸与について、大きく評価しているが、雪置場の確保、除雪機の管理、使用条件など、昨年度の試行から今年度の本運用までの間、どのような課題があったか。

答

除雪機は無償貸与としたが、保管場所確保や燃料費など運用上の手間や費用について、町と町内会の負担の在り方が課題だったが、実施した町内会からは概ね支障はなかったと確認している。



町内会に貸与された除雪機

ここが
聞きたい

除排雪への空き地活用

問

中心市街地では、雪捨て場として空き地の利用を求める声も聞く。もしかすると雪を置いても良いという地主がいるかもしれない。雪捨て場として提供可能な空き地などの調査はしているか。

答

空き地活用は、除排雪作業を行う上で大変有効と認識。既に当別環境整備協同組合が、空き地の所有者と協議し、必要に応じて利用している。また、空き地調査も図面上などでやっている。

ここが
聞きたい

物価高騰！経済対策を

問

冬に向け各業界から値上げが発表され、町の経済への影響が懸念されている。町独自の支援策も求められると考えるが、プレミアム付き商品券などの経済対策を実施する考えはあるか。

答

現在の物価高騰は、国民生活全体に影響する問題。国が対策を打つべきと考える。商品券事業等の町単独実施は非常に厳しい。町としては、国に対して地方への経済対策について要望していく。



一般質問

佐藤 立 議員

質問の
ねらい

子どもが群れて安全に遊べるまち

6月の一般質問で子どもにやさしいまちの全体像と町の施策の関連について質問し、当別町の各種施策や町長が掲げているチャイルドフアーストと子どもにやさしいまちが、概ね同じ方向を向いていることを確認

した。今回は、「子どもだけで、群れて、安全に遊べる」まちをキーワードに、子どもにやさしいまちを形作る具体的な項目について、今後の実現の可能性と課題を明らかにする。

ここが
聞きたい

子どもの活動の拠点施設

問 放課後、子どもたちが集まれる公共施設がない。総合体育館ロビーや図書館、コミュニティーセンターの空き部屋を、子どもが予約なしで集まれて相談や活動ができる場所として開放しては。

答 要望があれば場所や時間を割り振りして対応している。図書館では学習スペースが不足した場合、他の部屋の利用を可としており、総合体育館では無料開放日等で子どもに便宜を図っている。

ここが
聞きたい

合同部活動の移動支援

問 とうべつ学園と西当別中学校の合同部活動が始まったことに伴い、生徒がふれあいバスで移動する機会が増えている。これら生徒のふれあいバス運賃の負担軽減を検討しては。

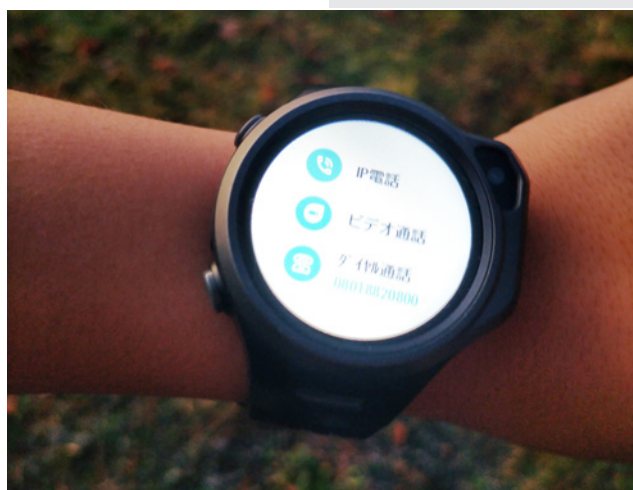
答 4つの部活動で拠点校方式を採用しており、頻繁な移動を伴うため、各家庭に負担が生じていると認識。移動支援について、国の補助制度も注視し、制度設計や財源確保など研究を進める。

ここが
聞きたい

デジタルツールの導入

問 学校への持ち込みルールを整理しなければならないが、GPS機能付きの子ども向け腕時計型携帯電話など、子どもの居場所を確認できるデジタルツールの購入補助制度を設けては。

答 子どもの居場所確認について、校内では学校が責任を持って行うが、学校外の行動は保護者の責任においてなすべきことでもあるため、それに対する補助は今のところ考えていない。



デジタルツール（本人提供）

ここが
聞きたい

子ども 110 番の家

問 子ども 110 番の家について、通学路再編に併せて見直すとともに、公園など子どもの遊び場周辺でも依頼しては。また、悪天候時の避難や電話貸し出しなど協力内容の拡充も検討しては。

答 現在の学区に即した見直しができなかった。今後は子どもの利用が多い施設周辺に協力を求めるなど現状に合うよう整備する。内容も見直し、地域で子どもの安全確保に取り組んでいく。

ここが
聞きたい

子育てガイドブックの地図

問 遊びに行く時に持ち歩く地図として利用できるように、子ども 110 番の家や公衆電話、公園遊具の状況を掲載しては。フリガナを振ると子どもや外国籍の方にもより分かりやすくなるのでは。

答 毎年、利用者の声を聞いて改定している。次年度も利用者や議員の意見も参考にして、地図だけでなく、その他の内容も検討を加え、より利便性の高い子育てガイドブックを目指していく。

一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

議案の審議結果

本会議では多くの報告や議決が行われました。

質問の
ねらい

子育て世代へのさらなる支援を

町内の出生数はKPI^{※1}の90人に対し、ここ5年間は50名を下回り、ピーク時の200人に比べても4分の1以下である。結婚や妊娠・出産、子育て世代支援について、これまで以上に力を入れるよう質した。次に、

物価高騰対策として、燃料購入費助成、水道料金の限定的な減額などを提案した。最後に、町のSDGsの取り組みとして、脱炭素に向けた再生エネルギー・省エネルギーの推進について質した。

ここが
聞きたい

学校給食費の無償化を

問 当別町の給食費は全国平均より2割程度高い状況。無償化は実現できないか。全員は無理でも、第2子半額、第3子無料というような検討の余地はないか。

答 無償化は少子化対策、移住促進に一定の効果が期待できるが、予算確保等の課題もあり、今、無償化する状況にはない。人口増加に向けた横断的な検討の中で、総合的に検討されると考える。

ここが
聞きたい

人口増加に向けた取り組み

問 人口増加には、自然減少社会減少の両方への対応が重要。定住人口増加のために、出産祝い金の支給や町外へ通学する学生への交通費支援など、もう一歩踏み込んだ対策が必要ではないか。

答 妊娠・出産サポートなど新たな子育て支援の取り組みを重ね、令和3年度は平成11年度以来の社会人口増となった。さらなる人口増に向け、より効果的で魅力ある施策立案に取り組む。



給油している様子

ここが
聞きたい

原油や物価高騰対策を

問 昨今の物価高騰により町民生活に大きな支障が出ている。さらに当別町は札幌市などに比べ、水道料金が約50%高い。燃料購入費の補助や、限定的な水道料金減免などを実施しては、

答 現在の物価高騰は、国民生活全体に影響する大きな問題。国が適切な対応を打つべきと考えている。町としては、今後の国の動向を注視しつつ、必要な対策を検討していく。

ここが
聞きたい

SDGsの取り組み

問 省エネルギー推進など脱炭素に向けた取り組みについて、町内事業者や個人が脱炭素の暮らしを実現するための具体策はあるのか。

答 省エネへの理解を深めてもらうため、エネチャレンジ事業や広報などによる啓発を行っている。今後も2050年のゼロカーボン達成に向けて、省エネを積極的に推進していく。



省エネを意識した生活を

【その他の主な質問項目】

灯油を使用しない世帯、自動車を所有しない世帯への町内で利用できる商品券の提供 など

※1 KPI…重要業績評価指標。当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標達成度を計るための数値指標のこと。

請願・陳情の基本的な流れ

請願

町議会議員の紹介がある意見や要望

陳情

町議会議員の紹介がない意見や要望
(※郵送されたものは写しを各議員に配布)

請願者 陳情者
議会事務局へ
事前連絡・日程調整

請願者 陳情者
議長へ
請願書・陳情書提出
※原則、定例会初日の2週間前まで
(会派代表者会議前日まで)

議長
本会議で委員会へ付託

付託された案件の審査

委員会

【審査結果】
・採択
・趣旨採択
・不採択

※継続審査の場合は引き続き
委員会で審査します

議会
本会議で討論・採決

議長
請願者・陳情者へ
結果通知

【記載事項について】

- 1 提出年月日、件名、趣旨を簡潔に記載してください。
- 2 宛名は「当別町議会議員○○○○」としてください。
- 3 請願（陳情）者の住所を記載し、請願（陳情）者が署名または記名押印してください。
- 4 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印も必要です。

※ご不明点などありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

令和4年第2回臨時会

日程：8月5日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 0人 議会中継視聴回数 159回 (11/18 現在)

【行政報告】 ※行政報告のため、質疑や採決は行われません。

令和4年7月豪雨に係る大崎市の災害被害状況等について - -

町内における新型コロナウイルスの感染状況等について - -

【補正予算】

令和4年度一般会計補正予算（第2号）

7,319万円を増額し、総額を140億9,819万円とするもの

◎

-

令和4年第3回定例会

日程：9月13日～27日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 6人 議会中継視聴回数 1,965回 (11/18 現在)

【議員提案】

法律の規定に基づき地域の実情を踏まえた衆議院議員小選挙区の区割りの改定を求める意見書 ◎ -

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 ◎ -

【専決処分】

和解及び損害賠償額の決定について

公用車の物損事故について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの ◎ -

和解及び損害賠償額の決定について

令和4年8月9日に行われた事務未処理に伴う補償の申し出について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの ◎ -

和解及び損害賠償額の決定について

令和4年8月15日に行われた事務未処理に伴う補償の申し出について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの ◎ -

【報告】

株式会社tobeの令和3年度決算及び令和4年度事業計画に関する書類の提出について ◎ -

地方自治法第243条の3第2項の規定により提出するもの

【人事案件】

教育委員会教育長の任命について

本庄 幸賢氏が令和4年9月30日で任期満了となることから、新たに三澤 吏佐子氏を任命するため、議会の同意を得ようとするもの ◎ -

教育委員会委員の任命について

武岡 和廣氏が令和4年9月30日で任期満了となることから、同氏を再任するため、議会の同意を得ようとするもの ◎ -

【補正予算】

令和4年度一般会計補正予算（第3号）

2億8,139万円を増額し、総額を143億7,958万円とするもの

◎

p.2
～
p.11

令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

6,800万円を増額し、総額を17億5,504万円とするもの

◎

-

【契約】		
J R 札沼線新駅駅前広場外舗装工事請負契約の変更について J R 札沼線新駅駅前広場外舗装工事請負契約金額の変更を行うため、議会の議決を得ようとするもの	◎	p.8
橋梁長寿命化修繕工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—
当別下水終末処理場電気設備更新工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—
【決算認定】 ※下記 2 議案は令和 3 年度各会計決算審査特別委員会へ付託		
令和 3 年度各会計歳入歳出決算認定について 一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定を求めるもの	付託	p.2 ~ p.11
令和 3 年度当別町水道事業会計決算認定について 水道事業会計の決算認定を求めるもの	—	—
【委員会報告】		
令和 3 年度各会計決算審査特別委員会報告 付託された案件を「原案のとおり認定すべきものと決定した。」と報告	◎	p.11
産業厚生常任委員会報告 ※実施報告のため、質疑や採択は行われません。 令和 4 年度道外所管事務調査の実施について報告するもの	—	p.23
【請願・陳情】		
《令和 4 年第 1 回定例会（3 月）産業厚生常任委員会へ付託》 「水田活用の直接支払交付金見直し」の再検討を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者] 当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他 4 団体 [紹介者] 当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※上記交付金見直しについて、地域実態の反映など再検討を求めるもの	趣旨採択	—
《令和 4 年第 2 回定例会（6 月）総務文教常任委員会へ付託》 「2023 年度地方財政の充実・強化に関する意見書」の採択を求める陳情について [提出者] 自治労北海道札幌地方本部 執行委員長 名古屋 亜美 他 1 団体 ※十分な地方一般財源総額の確保を図ること等を求めるもの	採択	—
《令和 4 年第 2 回定例会（6 月）総務文教常任委員会へ付託》 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者] 新日本婦人の会 当別支部 支部長 佐藤 美智子 他 4 団体 [紹介者] 当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫 ※上記条約への日本政府の参加・調印・批准を求めるもの	不採択	p.21 討論
《令和 4 年第 1 回定例会（3 月）総務文教常任委員会へ付託》 町立当別小学校「跡」の活用に関する陳情書 [提出者] 特定非営利活動法人ゆめの種子トープ 理事長 堀江 三千代 ※図書館等の機能を備えた生涯学習施設として当別小学校跡の活用等を求めるもの	継続	—
《令和 4 年第 2 回定例会（6 月）総務文教常任委員会へ付託》 当別町新庁舎に関する陳情書 [提出者] 太美地域活性化プロジェクト コアメンバー 代表 岡田 隆範 他 2 名 ※新庁舎建設候補地へ西当別小学校敷地の追加等を求めるもの	継続	—
《令和 4 年第 3 回定例会（9 月）総務文教常任委員会へ付託》 当別町の学校給食の無料化を求める請願書 [提出者] 新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他 4 団体 [紹介者] 当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※当別町の学校給食の無料化等を求めるもの	継続	—

討論

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



誰の安全保障にもならない
圧倒的多数の国が核兵器禁止条約に批准。文明国の指導者なら多くの市民に核兵器は向けられない。使わない核は抑止力にも、誰の安全保障にもならない。

不採択すべき 稲村議員



禁止条約には実効性がない
現在も大国中心に覇権競争が続き、核による威嚇が行われている。核兵器廃絶は、保有国と非保有国が認識を同じにしなければ進まない。核兵器禁止条約には実効性がない。

採択すべき 島田議員



日本が率先して訴えるべき
原子力爆弾を落とされた経験を持つ日本には、世界のどの国よりも、核兵器禁止を率先して訴えていく責務がある。早期に核兵器禁止条約に批准するよう政府に求めるべき。

不採択すべき 山田議員



米国を頼る以外ない
国民を守るためには、米国の抑止力に頼らざるを得ないのが現実。条約への批准は、米国の抑止力の正当性を損なうこととなり、結果、国民を危険にさらすこととなる。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
採	不	不	不	不	採	不	不	採	不	不	不	採	採

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき
「不」は不採択すべき。

次のページは

報告等

懇談会や所管事務調査など多くの活動を行いました。



「町内各団体との議会懇談会」を開催しました



当別町議会では、令和5年の改選に向け、議員定数と議員報酬について広く町民の意見を聴くため、令和4年8月22日に「町内各団体との議会懇談会」を開催しました。

懇談会では、議員定数については「現状維持で良い」、議員報酬については「現状維持で良い」、「もう少し高くても良い」というご意見を多くいただきました。

その他には、「現役議員は『議員は良い仕事だ』ともっとPRして、若手を引き込むべき」、「当別町は女性議員が3人いて素

晴らしい」、「他市町村と同様に人口1,000人あたり1人が妥当」、「新庁舎など関心の高いテーマで、町民を巻き込んだワークショップを行い、その中から町政に関わりたい人を引っ張れるようにしていくことが必要」など、さまざまな視点、立場からたくさんのご意見をいただきました。

今後、いただいた貴重なご意見を参考にしながら、議会活動や議会運営に努めてまいります。

【参加団体一覧】 ※各団体から代表者1名が参加

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| ・ 当別町町内会連合会 | ・ 北石狩農業協同組合 | ・ 当別町商工会女性部 |
| ・ 西当別連絡協議会 | ・ 当別土地改良区 | ・ 当別町商工会青年部 |
| ・ 当別町社会福祉協議会 | ・ 篠津中央土地改良区 | ・ 当別青年会議所 |
| ・ 当別町商工会 | ・ 当別町女性団体連絡協議会 | ・ 当別町PTA連合会 |
| ・ 当別町観光協会 | ・ 当別建設協会 | |

ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。

産業厚生 農作物は平年並みに生育

常任委員会

9/1 町内所管事務調査

花き生産へのスマート農業導入や水稻の生育状況、町道中小屋線道路改良工事について視察し、石狩農業改良普及センター、担当課から説明を受けました。



水稻のほ場（弁華別）



花き生産に導入された自動かん水システム（弁華別）



改良が進む町道中小屋線（中小屋）

産業厚生 姉妹都市 宮城県大崎市を視察

常任委員会

9/9～11 道外所管事務調査

宮城県大崎市を訪問し、ジビエ食肉処理加工等施設整備事業、電子商品券発行事業、今年7月の大雨による被害状況、大崎市図書館及び地域交流センター「あすも」について、説明を受け視察研修を実施しました。



説明を受ける様子（大崎市三本木庁舎にて）



大雨により浸水した揚排水機場



大崎市図書館

議会のうごき（令和4年8月～11月）

8月 1日	宮城県大崎市議会会派行政視察来庁	9月 22日	第3回定例会 産業厚生常任委員会
5日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 議会運営委員会 議員協議会 第2回臨時会 議員協議会	26日	第3回定例会
8日	愛媛県東予地区市議会議長会行政視察来庁	27日	議会運営委員会 議員協議会 令和3年度各会計決算審査特別委員会 第3回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会
17日	宮城県大崎市議会会派行政視察来庁	10月 4日	北海道芽室町議会行政視察来庁
22日	町内各団体との議会懇談会	6日	議会広報特別委員会
25日	産業厚生常任委員会	7日	北海道砂川市議会行政視察来庁
30日	会派代表者会議	17日	長野県千曲市議会行政視察来庁
9月 1日	議会広報特別委員会 産業厚生常任委員会町内所管事務調査	19日	議会運営委員会
6日	議会運営委員会	21日	議会広報特別委員会
9日	産業厚生常任委員会道外所管事務調査	24日	総務文教常任委員会
10日	産業厚生常任委員会道外所管事務調査	26日	福岡県川崎町行政視察来庁
11日	産業厚生常任委員会道外所管事務調査	11月 2日	議会広報特別委員会
13日	議会運営委員会 議員協議会 第3回定例会	9日	愛媛県宇和島市議会会派行政視察来庁
14日	総務文教常任委員会	10日	秋田県羽後町議会行政視察来庁
15日	産業厚生常任委員会	22日	会派代表者会議
16日	第3回定例会 議員協議会	24日	議会運営委員会道内所管事務調査
20日	令和3年度各会計決算審査特別委員会	25日	議会運営委員会道内所管事務調査
21日	令和3年度各会計決算審査特別委員会 総務文教常任委員会	29日	議会運営委員会

12月定例会のご案内

予定 12月6日(火)～12月13日(火)
内容 補正予算審査、一般質問など
※本会議や委員会の傍聴が可能です。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を制限

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長 五十嵐 信子
副委員長 鈴木 岩夫
委員 佐藤 立
委員 佐々木 常子
委員 櫻井 紀栄

編集後記

雪の便りが聞こえてくる時期となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。9月定例会では、決算審査特別委員会があり、活発な質疑応答がなされました。とうべつ議会だより第206号から新たなメンバーで編集を行ってきましたが、現体制での発行も残すところ2回となりました。今回も議会の様子を分かりやすく、見やすいレイアウトでお知らせできるように取り組んできましたが、お伝えできていたでしょうか。議会を身近に！皆様の読まれた感想やご意見をぜひお聞かせください。

議会広報特別委員会 委員長 五十嵐 信子